

テーマ

学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども

目標

- ・ 中学校、小学校、幼稚園及び公民館や地域の方々の文化的取組（演奏、合唱、作品展示等）を交流し、多くの方を招いて鑑賞していただく機会を持つ。
- ・ 学校園の環境整備、美化に努める。
- ・ 中学校、小学校、こども園において、読書の好きな子どもを育てる。
- ・ コーディネーターやボランティアの資質の向上を行うための研修を行う。
- ・ 新しい人材の発掘を繰り広げるとともに、子育て支援につながる講座を持つ。

今年度の取組紹介

「学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども」というテーマで取り組み、校区の1こども園、1小学校、1中学校で、テーマの実現を図って事業の展開をしてきました。

計画に従い、都跡ふれあいまつりで、中学校、小学校、こども園及び公民館や地域の方々の文化的取組

（演奏、合唱、作品展示等）を交流し、多くの方を招いて鑑賞していただく機会を持つことができました。さらに防災教育の大切さについて中学校の取組を住民に訴え、アピールできたことは今後のステップとなると思います。

学校園の保護者に止まらず、地域に呼びかけ教育講演会を実施することもできました。



今年度のまとめ

各校園での支援はほぼ計画通りに実施できました。また、教育講演会など、学校園を超えて地域全体に参加を呼びかけるなど、積極的な啓発活動が展開できました。支援の母体である協議会のコーディネーターと各校園支援のボランティアを交えた報告交流会を実施できたこと、小・中学校職員と協議会が膝を交えての交流会を持つことができたことは、地域の子どもは学社で育てるという意識を共有し、今後につながる取組となりました。



来年度に向けて

地域の一員としての自覚を子どもたちが持ち、地域に奉仕してくれる子どもたちを育てるために、数々の地域行事・文化的な行事などに子どもたちを参画させていく手立てを講じたい。

そのためにも協議会コーディネーター・ボランティアだけではなく、広く地域の住民に呼びかけ、啓発すると共に子どもたちと地域のみんなが一緒になって参加できる事業を創出していきたい。

校区の社会福祉にかかわる団体と連携を密にし、子どもを地域で見守り育てる営みを今後も推進していく。

テーマ

見つけよう 地域の宝物つながろう

目標

地域の人々 ～ふるさとを大切に～

こども園・小学校・特別支援学校との交流、地域の都跡ふれあいまつり等への参加、地域の人々との協働による環境整備、また職場体験などを通して、人を愛する心や学校・地域を愛する心を育てる。地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割をになえる子どもの育成。

今年度の取組紹介

11名のコーディネーターを中心としたボランティア組織の数々の支援があげられます。ゴーヤのグリーンカーテンづくり、サツマイモづくり、花壇の園芸、中庭のサツキの剪定、校内美化・整備作業、図書室の飾りつけや整理整頓、夏休みの教育相談など、多くの学習環境整備の取組をしていただきました。昨年度からの課題である教職員や生徒とボランティアの方々との協働作業もいくつかの場面で行い、教職員とコーディネーターとの交流会も行いました。

都跡ふれあいまつりにも、吹奏楽部や美術部、生徒会本部の生徒が参加して地域の人たちに本校の防災の取組などを発信できました。



今年度のまとめ

昨年度防災生徒総会に関わり学んだ内容を、生徒会本部役員が地域のふれあい祭りで地域の方々に向けて発表し、小学生や本校1年生にも説明しました。学校公開においてもコーディネーター・ボランティア・PTAの協力を得て、諸行事(体育大会・1日自由参観・合唱コンクール・カルタ会など)の公開だけでなく、学校を会場にした教育講演会や報告交流会などを開催することができました。

本校吹奏楽部のふれあいコンサート(都跡こども園との交流事業)では地域の幼児やその保護者や祖父母など多くの方々に来校いただき、まさに地域のふれあいの機会を持つことができました。

学習環境整備では、例年に増してゴーヤのグリーンカーテンづくり、サツマイモづくり、パンジー・マリーゴールド・葉ボタン等の園芸が場所を拡大して実施することができました。



来年度に向けて

支援をしていただいている内容やねらいを、学校側の教員にも生徒・保護者にもより伝える工夫をし、この事業に対する理解と取り組みに対するやる気を高めて、事業が継続できるようにしていきます。さらに、必要とする支援とお願いできる支援を今一度整理し、支援の見える化をはかると共に、地域の中学校として地域に奉仕する気持ちを育てることを考えていきます。

テーマ

都跡で暮らし 都跡で学び 都跡を学ぶ

目標

都跡を理解し、都跡を愛する児童の心を育てる

今年度の取組紹介

○ 地域懇談会

昨年度より管理職だけが地域との窓口になるのではなく、他の教職員と地域の方との距離感を縮め、地域の方に教職員のことを知っていただくために「地域懇談会」を開催しています。

「地域懇談会」では、小グループに分かれて懇談し、全教職員が地域の方と親睦を深めることができました。また、今年度も校務分掌の中に「地域教育推進」の部署を設け、7名の教員を

配置しました。「地域教育推進」担当者は運営委員会への参加や「地域懇談会」の企画、運営を行うことにより、学校と地域とのパイプ役として「学校の垣根」を低くする役割を果たしてくれました。



地域懇談会

○ 環境整備：花苗植え

地域の方にサツマイモや花の苗植えをお願いし、環境整備を行っていただきました。飼育栽培委員の5・6年生と一緒に、玄関前のプランターに花の苗を植えていただきました。会話をしながら一緒に作業をすることにより、子ども達は地域の方を身近に感じることができました。また、地域の方にも子ども達と接する機会となり、大変喜んでいただきました。



花苗植え

今年度のまとめ

○ 地域の方々は、「子どものためなら。」とか「子どもと一緒にいると元気をもらえる。」と考え様々な場面で学校に協力してくださっています。教職員や児童が、このような地域の方の温かい気持ちに実際に多くふれることで、地域をより詳しく知ることができると考えます。地域の方から教えていただくだけでなく、地域の方と一緒に活動する場面を増やしたり、教職員が地域の方と顔なじみになって気軽に声を掛けあったりすることで、学校と地域がより近い存在になって、一緒に児童を育てていく大きな一歩になったと考えます。

来年度に向けて

○ 昨年度に引き続き、児童から地域の方が見える。教職員から地域の方が見える。そんな関係づくりを進めることができました。来年度以降もこの歩みをより大きなものにするために、地域と学校(教職員や児童)が触れ合う場面を確立・拡大していきたいと考えています。

テーマ

みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園

目標

子どもたちの心が動くような感動体験を計画し、「笑顔があふれるこども園」として地域や保護者の協力を得て園の環境づくりに取り組む。

今年度の取組紹介

○『地域の方と栽培活動』

地域の方と共に1年を通して野菜や花の栽培活動に取り組んできました。植えるだけで終わるのではなく、毎日水やり、施肥、草引き等世話をすることも教えていただき、生長の様子にも興味を持つことができました。今年度はたくさん収穫できたトマトを給食で使ってもらい、お世話になった方をお招きし、“リリコパーティー”

(リリコ=トマトの品種)を開きました。地域の方と一緒に収穫し、食する喜びを感じることができ、地域とのつながりも深まりました。

○地域の方の『お話の会』や保護者による『ママの絵本』

地域の方が月に1回お話の会に来てくださるのを子どもたちは楽しみにしていて、見かけると「～さん!」「また来てね」と声をかけています。園の絵本をたくさん活用していただけるように計画し、相談しながら新しい絵本を増やすことができました。担任に絵本を読んでもらうだけでなく、地域の方や保護者など絵本を通してたくさんの方とかかわり持つことができ、お話が大好きな子どもたちに育ちました。

○『遊具や遊び場づくり』

地域の方に協力していただき、みんなで遊びを創り出せるような遊具や遊び場づくりに取り組みました。手作り遊具から子どもたちのイメージが広がり、友達と遊び方を考え、夢中になって遊ぶ姿が見られました。



今年度のまとめ

○今年度は地域の方との『栽培活動』『読み聞かせ活動』『遊具や遊び場づくり』、本物に触れる『感動体験』を重点的に取り組みました。子どもたちは多くの方との触れ合いを通し、心を動かす様々な体験、経験をすることができました。地域の方がいつも温かく見守ってくださっていることを感じ、また、地域の方からは子どもたちが生き生きと活動している様子を見ていただき、「よく話が聞けるようになったね」と1年間の成長を感じてもらうことができました。

来年度に向けて

○地域の方に協力していただくことで、園だけではできない活動に取り組むことができ、子どもたちにとって豊かな経験となり成長につながりました。来年度も園・地域・保護者がさらに連携を深め地域と共にある笑顔あふれるこども園を目指せるように地域の教育力を存分に活かしていきたいです。